



# 園長だより

令和8年 ~2月号~

## 2月3日 節分集会



遊戯室に鬼 登場!  
怖くなんか…ない

もっと大きな声  
が出るぞ~



「鬼のパンツ」を  
歌って、鬼を追い返そう!!

02/03/2026



「鬼だって、みんなとなかよく



なりたいんだよ」  
そんな話を聞くと、子ども  
たちもそんな気になってくるの  
ですね。

それにしても、この鬼の  
クウォリティーの高さ!



02/03/2026



02/03/2026

気丈にも鬼に向かって行く子もいます。何より、みんなで鬼を退治しようと気持ちの高まりもあったようです。怖くて泣いてしまう子も担任やいろいろな先生が抱きしめたり、おしくらまんじゅうのようにみんなで固まったりして、安心感を得ています。それでも怖い子は職員室に避難して鬼が去るのを待っていました。ここで振り絞った勇気を胸に、自分の心の中にある「〇〇鬼」を退治できるといいですね。

「怒りんぼ鬼」「片付けできない鬼」「好き嫌い鬼」「泣き虫鬼」中には「人の言うこと聞かない鬼」なんて鬼も子どもから出てきました。ちなみに、今年の鬼役は…。サンタクロース同様、秘密の方がいいですね。

## 2月9日(月)朝 氷点下の朝

たらいやボウルにあらかじめ水を入れて一晩おきました。

こういう変化にすぐに気づく年長の子どもたち。こうして何人も集まってきます。級外の先生たちもかかわってくれています。子どもたちって、一緒にやっている時でも、自分が持った氷とかを「見て見て」と見せるのです。「すごいね」「つめたたいね」とか、そんなかわりが会話になっていきます。



大事そうに。どこに持って行くのだろう。ひよこ組さん。

3cmくらいの厚さがある氷。中にパンジーを入れておきましたが、氷を持ち上げてみると、「きれい!」と感じる年長の女の子もいるのです。袋の中に氷を入れて持って帰りたい?という子もいたそうです。「水は持って帰れないんだけどな」と。氷は永久にそのままだと思っている?こういうところが、大事ですね。たらいはしばらくそのままにしておきます。

ボウルにも水と花を入れておきました。なぜか、誰も気づいていないのです。そばにいた満3歳児ひよこ組の子に言うと、果敢にも氷を取り出して見せてくれました。寒い朝の自由遊び。元気です。



感触を楽しむ。変化に気付く。割ってもいいし石を乗せてもいい。子どもなりに気付いたこと自体が大切です。

この前日は静岡にも(私の記憶にないくらい久しぶりに)雪が降りました。朝門のところ立っていると、やはりそのことを伝えてくれる子もいます。そういう気持ちのある子ばかりです。

## 発表会 2月14日(土) 前の日に他学年の発表をみんなで見合いました 【ひよこ】



最初はちょっと不安げな表情のひよこ組さんたち。でも、「寿司」になって出てくると・・・。

ステージに立っているだけでも、絵になるひよこ組さん。会場の子どもたちからも「かわいい」という声がかかるほどです。こういう場で自分を表現することは、なかなか難しいことですが、お寿司になったり、音楽に合

わせて踊ったりすることによっていろいろな動作を見せてくれます。そんなひよこ組の「お寿司な姿」は。



自分の名前と  
好きな食べ物  
を発表します

こんなに言葉  
が言えるなんて。  
言葉の成長の  
大きさはこういう



集団で育っているからこそだと言ってもいいくらいです。日に日に育っていくひよこ組さん。感動です。

**【年少】** まずグループごとに出場 手遊び的な動作と歌でほのぼののムードが。





手順をよく覚えていて、曲に合わせた移動や練習してきたことを楽しそうにやっていました。運動会の中からさらに個々の動きが楽しそうで、その子らしい面を見ることができました。本番がとても楽しみです。



動きにカメラがついていけない。みんな表情がとってもいいですね。しかも、個々に違う。楽しそうです。





どの子どもみんなに、「意志」を感じますね。子どもたちが見ている前でさえ、こんな感じで心が入った歌声を聞かせようとしているのですから、この子たちの家の人が見ている本番にはどんな姿を見せてくれるのでしょうか。私にとっては、期待しかありません。

←鈴とカスタネットの演奏も入ります。初めての合奏。みんなとリズムや音を合わせて演奏するって、この時期の子どもたちにとってどんな楽しみがあるのでしょうか。きれいにそろって演奏した心地よさを感じてほしいですね。

### 【年中】

まずは、こんな並びでの鍵盤ハーモニカ合奏。

子どもたちの足元に感動しました。些細なことですが、皆でそろってステージ上に立つというのは、こういう姿勢からが基本ですね。



こうしてグループでの「カラオケステージ」が始まります。





手足の振りが写っているのを見ると、何かを表現しているようで楽しいですね。  
 「〇〇ちゃんらしい」という見方といい意味でその逆も見られるのです。私にとっては、そのどちらも楽しくて仕方ありません。

上の写真の手振りと足の動きに注目して見てください。どの写真もステージ上の雰囲気が出ています。



【年長】 外国の曲の合奏として、設定に工夫がありました。機長とCA 役の MC、よくあれだけのセリフを覚えたものです。年中も年長もそれぞれに役割があるところがいいですね。



**ブラジル サンバ バンド** ノリノリのリズムに全体で合わせようとしているところがいい。



**アメリカン バンド** 「ZOO」の曲に合わせているところがすごい。



**韓国 APT バンド** リズムを意識して演奏しているんだなと感心しました。



### 合唱

年長の合唱にはいつもじーんときます。発表会での歌声が、きっと卒園式につながってきます。



卒園式ではこの発表会の歌声がさらにパワーアップしていくことでしょう。卒園していくということは子どもにとって大きな変化ではないでしょうか。そんな気持ちが歌声に出てくるのではないのかなと思っています。  
・小学校に体験入学して、ランドセルもそろい、幼稚園では別の学校に行く子もいるし、そもそも幼稚園ではないというところに大きな変化があります。小1プロブレムと言って、その変化に適應できない子もいるのですが、少なくとも、子どもたちは皆小学校生活に大きな期待をもっていることは確かです。

**中学生の職場体験** 子どもたちに人気の中学生 とてもよく動いて遊んでくれています。

昼下がりの園庭 「だるまさんがころんだ」の中に、いい感じのメロディーが!

